



一般質問

山田 明 議員

質問の
ねらい

地域住民と情報共有を図るために

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組みが継続され、町民生活に大きな影響を与えている。町内会活動やイベントの中止、各種会合の自粛等により不安な状況が続いている。また、今年度の大雪で町民

の不安が高まる中、町からの情報が入手しづらくなっている。町民の不安払拭^{ふっしょく}に向け、情報共有の必要性と町内の課題解決に向けた町の今後の取り組み姿勢を町長に伺った。

ここが
聞きたい

ワクチンの接種体制は

問 地域の実情により、さまざまな接種体制の構築が必要である。各自治体で接種開始時期の“バラツキ”が予想される中、町としてどのような接種体制及び接種スケジュールを想定しているのか。

答 町内医療機関や医療大学に協力を依頼し、体制のめどは付いている。ワクチンが最も早く届いた場合の想定は、医療従事者を3月末、高齢者を4月末、一般の方々を6月以降に開始としている。

ここが
聞きたい

人権への配慮は

問 ワクチン接種の実施計画策定にあたって、現時点で課題や問題点はあるか。また、ワクチンを接種しなかった人への誹謗中傷に対する人権への配慮は検討しているか。

答 ワクチンの到着時期が不透明で、接種時期を確定できないことが一番の課題。また、誹謗中傷が起こらないように、町の広報やホームページ、SNSなどで住民への周知、啓発が必要と考える。

ここが
聞きたい

町内経済活性化に向けて

問 商工会より町内経済活性化に向け、令和3年度もプレミアム付商品券の継続の要望書が提出された。販売の方法、場所、開始時期について商工会と連携して進めてほしいが、町長の見解は。

答 商工会と連携を密にして、あらゆる年齢層が購入しやすくなるよう進めたい。各事業者の皆様がいかにお客様を呼べるかなど、アイデアを出し合い、より良い相乗効果を生み出していきたい。

ここが
聞きたい

除排雪体制の見直しを！

問 降雪状況によらず、生活道路の排雪を年末と年明けの2回体制にして、効率良く排雪すべきと考えるが、町長の見解は。また、令和3年度に向けて他の雪堆積場の確保の検討は。

答 2回体制には、除排雪業者の体制強化など課題が多いため、新たな除排雪システムを探求していく。また、新たな雪堆積場が近場では見つからないので、多少遠くても見つけなければならない。

ここが
聞きたい

雪庇対策の検討を！

問 商店街では雪庇が多く見受けられ、道路側にはみ出して非常に危険。基本的には所有者の責任だが、空き店舗も多い。消防署など他機関と連携して、巡回パトロールなどの対応はできないか。

答 消防や警察と連携してパトロールを行っている。危険箇所は、所有者に対応するよう注意している。対応されない場合は、カラーコーンを置いて注意喚起をして、安全確保に努めている。



せり出した雪庇

一般質問

五十嵐 信子 議員



質問の
ねらい

除排雪の体制や対策は最重要課題

人口減少に歯止めをかけ、定住人口を増加させるためには、この町で安心、安全に暮らしていけるかが問われる。雪対策は、災害時と同じく、町の最重要課題である。冬期間に町民が抱える課題を各部署と関係機関

が共有し、万全な体制で乗り越えていかななくてはならない。また、積雪により生じるマンホールの段差が危険であるため、段差を解消できる「断熱マンホール蓋^{ふた}」の設置を計画的に実施すべきと質した。

ここが
聞きたい

町民からの苦情や要望対応

問 今年は何年にもない大雪に見舞われ、予定どおりに除排雪作業も進まず、大変な年となった。町に寄せられた苦情も800件を超えると報告があった。一つ一つどのように対応されてきたのか。

答 職員が電話で対応する場合と、状況により現地に出向いて対応する場合がある。特に置き雪に対する苦情が多く、各家庭で処理していただくように協力をお願いしているところである。

ここが
聞きたい

住宅街での雪捨て場の問題

問 大雪になると苦慮するのが雪捨て場の問題。私有地を雪捨て場として借り上げ、固定資産税の一部免除を実施する自治体もあるが、私有地借り上げにより、除雪の利便性を向上させる考えは。

答 すでに除排雪業者が私有地を借り上げている例がある。その業者から意見を聞き取り、本町の除排雪体制に大きなメリットがあると認められれば、導入を検討していく。



夜間の除雪作業の様子

ここが
聞きたい

冬の道路環境の課題解決を

問 雪対策は災害時の対応と同じく町の最重要課題で、町民と一緒に考え、取り組むことが大切。町と各町内会の協働のあり方や、道路環境の課題について、意見交換できる工夫をしてはどうか。

答 町内会長、除排雪業者、町で設立した除排雪連絡協議会で意見交換を行っている。今までの除排雪システムではなく、斬新なシステムを構築するため、この協議会を含めて議論を進めていく。

ここが
聞きたい

断熱マンホール蓋の設置を

問 マンホール上の積雪は、下水の熱により溶け、その部分と道路に段差ができるため危険。断熱マンホール蓋は段差を解消できるので、特に危険な道路に計画的に設置すべきでは。

答 以前試験的に導入したが、当時の製品では効果がみられず、使用していない。ただ、近年は性能が向上し近隣市町村も採用しているようなので、情報を入手し導入すべきか分析していきたい。



雪で狭くなっている道路

【その他の主な質問項目】

緊急車両を有する機関との除排雪状況の情報共有



一般質問

鈴木 岩夫 議員

質問の
ねらい

国保税の引き上げを断念せよ

国保税は一昨年、年収 250 万円、固定資産税約 5 万円、介護該当者 2 名、4 人家族というモデル世帯で、これまで 45 万円だったものが約 2 万円の引き上げが行われたばかり。コロナ禍で苦しむ町民に、これ

以上の苦しみを与えるべきではない。今回平均 6,000 円の引き上げは断念すべきと質した。また、ワクチン頼みではなく、医療や介護施設での無症状者発見のための PCR 検査を併せて実施すべきと質した。

ここが
聞きたい

検査はいつ頃できるのか

問 ワクチン頼みでなく無症状者の発見、クラスター抑止のために急いで PCR 検査を実施すべき。町にある医療大の検査能力を活用して、社会的検査としての PCR 検査をいつごろ実施できるか。

答 医療大を通じて協議しているソフトバンクの検査センターには、予約が殺到しており、検査のめどが立たない。今後開始するワクチンの接種状況も勘案し、PCR 検査の方向性を見極めていく。

ここが
聞きたい

国保税引き上げは断念せよ

問 国保税は一昨年平均的な 4 人家族で、年額 45 万円から約 2 万円引き上げられたばかり。コロナ禍で町民にこれ以上苦しみを与えるべきでない。今回の平均 6 千円の引き上げは断念すべきでは。

答 都道府県単位化がスタートし、全道で保険料率を統一するために、毎年税率改定が必要。今回の改定では、低所得世帯の負担に配慮し、所得などに応じて負担する方法を進めていく。

ここが
聞きたい

窓口負担 2 割の撤回を

問 菅政権は、年 200 万円以上収入がある人の後期高齢者保険の窓口負担を 2 割に引き上げる法案を、今国会に提案成立、2022 年実施を目指している。法案撤回を強く国に求めるべきでは。

答 一個人や一町村では解決できるものではないので、すでに何度も国に要望を出している全国の後期高齢者医療広域連合の動きを後押しして、国への要請を強めていきたい。

ここが
聞きたい

介護保険料引き上げは断念せよ

問 コロナ禍で撤退する事業者が出ており、保険あって介護なしの実態が広がっている。そのような中で引き上げは理解されない。65 歳以上はさらに負担増。今回の引き上げは断念すべきでは。

答 高齢者が増え続ける中、安定した介護保険事業の運営には、保険料引き上げは避けられない。本来は 497 円増額だが、基金を活用して 60 円の増額に抑え、基準月額を 5,660 円とした。

ここが
聞きたい

保育士の処遇を改善せよ

問 保育士確保が困難な状況が改善されない。処遇が社会的重要性や職務内容に見合っていないことが原因。給与の大幅引き上げが求められる。他職種との格差をなくすよう国に求めるべきでは。

答 令和 3 年度の保育士については、必要な人数を確保できている状況。北海道町村教育委員会連合会から国に対して、保育士の処遇改善を要望してきているので、今後もそれは続けていきたい。



認定こども園「当別夢の国幼稚園」

一般質問

山崎 公司 議員



次のページは

令和2年度補正予算審査

多岐にわたる質疑がありました。

質問の
ねらい

さらなるコロナ感染対策と支援を

道内で新型コロナウイルスの感染が確認され、1年以上が経過した。町民の暮らしと事業者に大きな影響を与えている。さらなる感染防止対策と、町民・事業者に対する十分な支援を引き続き期待し、さらに感染

症に伴う学校生活のストレス対応、また、新生活様式を定着させる上で行政としての新たな対応について質した。次に、政府が進める行政手続きのはんこ使用廃止を受け、町としてどのように取り組むか質した。

ここが
聞きたい

事業の廃業や倒産件数

問 感染症の影響により、総合相談窓口への個人・事業者の経済活動等に関する新たな相談の動きはあるか。町内の事業規模の縮小、廃業や倒産件数等の状況をどのように精査、検証しているか。

答 昨年9月議会の際に2,300件、12月議会の際に新たに200件と答えしたが、その後新たな相談は来ていない。また、廃業は数件あるが、コロナが主要因ではないと認識している。

ここが
聞きたい

学校生活のストレス対応

問 感染拡大による一斉休校等によるストレスや、起床、就寝時間が不規則になり、児童生徒の体力が前年より下回っているとの報告がある。改善ののためにどのように対応しているか。

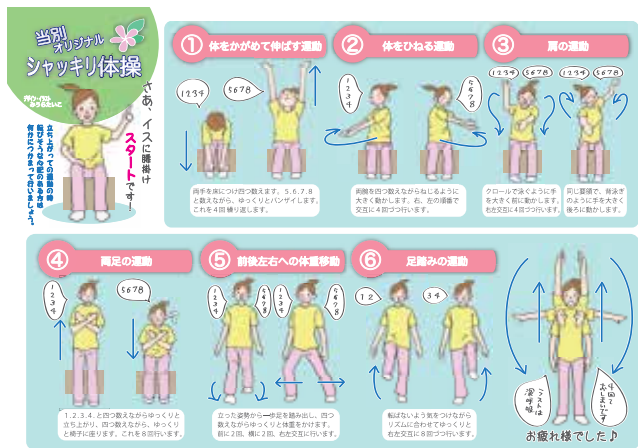
答 児童生徒の体力については、コロナ禍特有というより当別町の継続した課題と捉えている。一校一実践や一貫教育における教科体育など、子どもたちを支援して全国平均以上を目指していく。

ここが
聞きたい

新生活様式の新たな対応

問 コロナ禍において、新生活様式を定着させていく上で、靴下が履けないなど、階段を上ることができなくなるなど、高齢者の体力低下の問題へはどのように対応されるか。

答 コロナ禍での高齢者の体力低下は大変な懸念。自宅で当別シャッキリ体操の実践や、健康に関するパンフレット、医療大生作成のエクササイズのチラシの配布など、意識向上を働きかけていく。



作成者：当別町高齢者クラブ連合会、北海道医療大学リハビリテーション科学部、当別町

当別シャッキリ体操リーフレット

ここが
聞きたい

自治体DX推進計画

問 政府は、2021年度から行政のデジタル化を目指し、自治体システムにおいて強力的にDX※1を推進する。AI、RPA※2の利用促進、テレワークの実施体制づくりはどのように行われているか。

答 役場内にチームを立ち上げ、導入の効果などについて検証するよう指示している。国へデジタル専門人材派遣の申し入れや、即戦力になる人材の採用も決めた。今後も体制強化を図っていく。

ここが
聞きたい

はんこ使用廃止に向けて

問 政府が進める行政手続きのはんこ使用廃止を受け、町として、現時点では具体的にどの部門でどの書類が可能になるか。

答 町が行う住民サービスで、押印を求める様式は約200種類。法令等に基づくものなので、国の動きを注視していく。

【その他の主な質問項目】

町内の児童虐待の状況とその対応、コロナ対策としての町民・事業者に対する具体的な支援策

※1 DX… デジタル技術の活用や浸透により、人々の仕事や生活をあらゆる面でより良いものへと変革すること。

※2 RPA… データの入力等の単純作業をロボットを活用して自動化する技術で、自律的に動くAIに対し、ルールに沿った作業を行う。

総務文教常任委員会(3/3)、産業厚生常任委員会(3/4・5)を開催し、町から令和2年度補正予算や条例制定等の提案説明や報告などがあり、質疑が行われました。

光回線整備へ 駅前広場の地盤対策

総務
文教

光ファイバの供用開始は

問 供用開始が令和4年4月で、中小屋や高岡、東裏の端まであり、基地局も3つある。地元の人から「基地局が違うなら、整備したところから順次使えないか」と聞かれるが、そのあたりの検討は。

答 NTT にはお願いはしているが、工事が完全に終了してから、供用開始にしたいとの回答だった。整備されたところから使えるよう、引き続きお願いしていく。

総務
文教

新駅 駅前広場の地盤対策

問 軟弱地盤対策として、約3億円計上されているが、どのような方法を考えているのか。

答 駅に近接する部分は、線路への影響を考慮し、

EPS 工法という発泡スチロールを地盤に埋め込む軟弱地盤対策を講じる。町道 15 線側については、一般的な**載荷盛土**という土を盛って地盤を落ち着かせる工法で行う。

とうべつ学園 財政負担軽減へ努力

総務
文教

学校建設 財政負担軽減へ

問 国の補正予算を活用して補助率を上げるとのこと、起債^{※1}が9,780万円マイナスとなっており、努力されていることが示されているが、これにより町の負担はどのくらい減るのか。

答 当初事業費に対する補助金がいくらで、一般財源や起債などがいくらかが分かって事業費総額が出るため、町の負担がどのくらい減るかは答えにくいですが、こと細かく事業費を積算し、当てはまる補助金を求めている。

一体型義務教育学校の事業費について

	概算事業費 (令和2年3月時点)	実施事業費 (令和3年3月時点)	増 減
事業費	60億 5,425万円	59億 8,742万円	▲ 6,683万円
国・道補助金	16億 8,273万円	20億 4,911万円	3億 6,638万円
起 債	33億 7,770万円	32億 7,990万円	▲ 9,780万円
その他 [※]	9億 7,730万円	6億 4,154万円	▲ 3億 3,576万円
町単独	1,652万円	1,687万円	35万円

※「その他」は、主にまちづくり基金などの基金を活用するもの。

総務
文教

学校に当別町産木材を

問 とうべつ学園の校舎建設について、町長も当別町の木を使うと述べていたが、具体的に当別町産の何をどれくらい使うのか。

答 校舎の中の壁材やフローリングなどに、当別町産の木材を使う用意をしている。その他、チップボイラにも当別町産の木材を使っていく予定をしている。

総務
文教

西当別小中チップボイラ

問 チップの原材料は、今はどこから仕入れているのか。チップを作る機械を購入している町内業者もいるが、今後、原材料の調達はどのような計画で行うのか。

答 チップの原材料は当別町産を活用。町内にチップを製造できる業者がいるので、そこから購入している。今後も引き続き調達していきたい。

※1 起債… 地方公共団体が財政上必要な資金を国や金融機関などの外部から借り入れるため、債権を発行すること。

新型コロナウイルスワクチン

次のページは

議案の審議結果 定例会では、質疑や討論と採決が行われました。

産業厚生 若い介護員の接種順位

問 接種対象者の順位として、高齢者である65歳以上の介護員であれば、先に打てると思うが、若い介護員の接種順位について、当別町ではどのような考えでいるのか。

答 コロナ感染症にひんぱん頻繁に接する機会のある方は、高齢者の次の高齢者施設の従事者などと同等の扱いで、各自治体で判断するという国の流れ。現在、施設等に照会をかけた人数の集約をしている。

産業厚生 接種はかかりつけ医からも

問 町民には、あいの里の北海道医療大学病院にかかっている人が多いので、そこのかかりつけ医に接種をしてもらえれば安心感があるが、そういう検討はしているか。

答 基本的には住民票を置く自治体での接種となるが、他の自治体で入院や入所、また基礎疾患を持っていて他の自治体に主治医がいる場合などは、他の自治体でも可能。

新たな除排雪体制を

令和2年度の除排雪状況について説明があり、除排雪業務委託費を大幅に増額する補正予算案を提出する予定であることも伝えられました。

産業厚生 除排雪 大幅に増額

問 大雪により800件も苦情が来ており、町民が生活する上で本当に困っている。補正予算で何とか克服していくという努力を示していただきたい。

答 住民の皆様には不便な生活を強いている。かつてない規模で補正予算を提出する予定。除雪体制は考えなければならない時期に来ている。次の除雪シーズンに向け、体制もしっかり考えていく。

産業厚生 生活道路の除雪パトロール

問 太美では2月に積雪がものすごく増えたが、パトロールで生活道路の現状は見ていたのか。苦情も多かったが、その苦情に対してどのような対応をしてきたのか。

答 特に太美は、生活道路を中心に回り、状況を確認。時間関係なくパトロールしている。また、苦情には電話対応や、必要に応じて職員が現地に行き対応している。

【その他の主な質問項目】
JR新駅の歩道整備（総務委）、ゆとりっち稲穂の土地売払収入と平米単価（総務委）、特別定額給付金の辞退者数（産業委）、インフルエンザ予防接種と発症者の実態（産業委）、妊婦健診費用の減額理由（産業委）など

各年度 12月末時点と3月末時点の降雪量（当別地区）

